

LUXMAN D/A コンバーター用 Windows/Mac 対応オーディオプレーヤーソフト 「LUXMAN Audio Player」 操作マニュアル

● ご使用になるPC/Macの推奨条件

搭載CPU : Intel Core i3以上

搭載メモリー : 4GB以上

OS : Windows 10、Windows 11

mac OS v10.15 (Catalina) 以降

本ソフトウェアは、ラックスマン製D/Aコンバーター製品のうち、下記の対応製品との組み合わせでのみ動作いたします。最新の対応製品については、ラックスマンWebサイト等にてお知らせいたします。

対応製品 : DA-06、DA-250、DA-150、DA-200、DA-100、D-08u、D-06u、D-05u、D-N150、D-03X、
D-10X、D-07X (2023年6月現在)

本マニュアルは、主にWindows版 Version.1.7.4での操作について説明しています。再生操作やプレイリストの管理などについては、Mac版でも同様の操作で可能です。

「デバイスの設定」と「高音質再生のための設定」については、両OSに対して個別に説明していますので、対応する項目箇所をお読みください。



ご注意

- 音楽ファイルの再生中は、PC/Macの操作はなるべくしないようにしてください。CPUの負荷が高くなったり、スムーズなファイルの読み込みが阻害され、再生音が途切れたりする場合があります。
 - 本ソフトウェアをD-08u/D-06u/D-05u/DA-06で使用する場合は、製品に付属するCDまたはラックスマンWebサイトにて配布する専用のドライバーソフトウェアが必要となります。
※DA-250/DA-150/D-N150/D-03X/D-10X/D-07Xにつきましては、ラックスマンWebサイトからダウンロードしてください。
 - 本ソフトウェアをWindows環境とDA-200/DA-100で使用する場合は、Windows Vista以降で動作します。WASAPIモードを持っていないWindows XP、およびそれ以前のWindows環境では動作しません。
 - 本ソフトウェアをWindows環境で使用する場合は、アプリケーションの実行ファイル（LUXMAN-AudioPlayer.exe）のみを任意の場所にコピーしても動作しません。必ず、〈LUXMAN Audio Player for Windows〉フォルダーごとコピーしてご使用ください。
 - 再生する音楽ファイルの対応サンプリング周波数と量子化ビット数は、接続するUSB D/Aコンバーターの仕様に限定されます。詳しくは接続するD/Aコンバーター製品同梱のオーナーズマニュアルをお読みください。
 - DA-200/DA-100を接続して使用する場合、D-08u/D-06u/D-05u/DA-06/DA-250/DA-150/D-N150/D-03Xのみに対応しているファイル形式もプレイリストに登録出来ますが、再生時には再生がスキップされ、次の対応ファイルの再生を自動的に開始します。
 - D/Aコンバーター製品については、製品同梱のオーナーズマニュアルをお読みください。
 - 再生する音楽ファイルなど、PC/Mac上で発生するトラブルでファイルが破損してしまう場合があります。ファイルはこまめにバックアップを取ることをおすすめします。
 - 各ソフトウェアがバージョンアップされた場合は、ラックスマンWebサイトなどにてご案内いたします。詳しくは、ラックスマン・ホームページをご覧ください。（<http://www.luxman.co.jp/>）
-
- Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Mac、Mac OS は、米国Apple Inc. の登録商標または商標です。

■使用許諾条件

- ・提供ソフトウェアの著作権は、ラックスマン株式会社（以下、ラックスマンといいます。）ならびに原権利者に帰属します。
- ・提供ソフトウェアは、各提供ソフトウェアに対応するラックスマン製品を利用する目的で日本国内においてのみ使用することができます。
- ・提供ソフトウェアを使用するにあたっては、各提供ソフトウェアに関してラックスマンが本サービスで明記する注意制限事項等を遵守してください。
- ・提供ソフトウェアの全部または一部を修正、改変し、またはリバースエンジニアリング、逆コンパイルあるいは逆アセンブル等により解析することを禁止します。
- ・提供ソフトウェアを通信回線を利用し頒布すること、フロッピーディスク、磁気テープ、USBメモリー等の他の媒体に複製し第三者に譲渡、販売、貸与、使用許諾することを禁止します。
- ・ラックスマン、ラックスマン製品の販売会社、契約店および提供ソフトウェアの原権利者は、提供ソフトウェアを本サービスで明記する注意制限事項等で特定する以外の機器あるいはプログラムと組み合わせること、また提供ソフトウェアを改変することに起因して生じた損害、損失等に関し責任を負うものではありません。
- ・ラックスマン、ラックスマン製品の販売会社、契約店および提供ソフトウェアの原権利者は、提供ソフトウェアに関し何らの保証責任および賠償責任も負うものではありません。

概要

「LUXMAN Audio Player」は、シンプルな画面と簡単な操作で高音質な音楽再生を楽しめる、WindowsおよびMac対応のオーディオプレーヤーソフトです。

ラックスマン製の対応D/Aコンバーター機器を接続し、設定画面から機種名を選択するだけで、他に難しい設定をすることなく、CDをリッピングしたデータはもちろんのこと、音楽配信サイトなどで購入したハイレゾリューションな音楽ファイルやDSDファイルなどを再生することができます。



主な特徴

1. ラックスマンCD/SACDプレーヤー Dシリーズをイメージしたシンプルな画面デザイン。
2. 音質を最重要視した設計と、ラックスマン製D/Aコンバーターに最適化された高音質再生。
3. インストール後、接続したD/Aコンバーター名を選ぶだけで完了する基本的な再生設定。
4. 音楽ファイルをプレーヤー画面にドラッグアンドドロップするだけで作成できるプレイリスト機能。
5. 最大768kHz*のPCMデータや、最大DSD22.5MHz*の音楽データ再生に対応。
6. WindowsではASIO2.1とDoPの2方式によるDSDのネイティブ再生方法を選択可能（MacではDoPによる再生）。
7. 音楽ファイルのデータをPC/Macの本体メモリーに読み込んでから再生するRAM展開再生モード。
8. ライブ盤などの曲間を途切れさせることなく再生できるMP3ギャップレス再生機能。

対応するファイル形式

WAV : 44.1k ~ 768kHz*/16 ~ 32bit
FLAC : 44.1k ~ 768kHz*/16 ~ 32bit
MP3 : 32k ~ 320kbps

DSF : 2.82/5.64/11.2/22.5MHz*
DSDIFF(拡張子.dff) : 2.82/5.64/11.2/22.5MHz*
ALAC(拡張子.m4a) : 44.1k ~ 768kHz*/16 ~ 32bit
AIFF : 44.1k ~ 768kHz*/16 ~ 32bit

*D-05u、DA-250、DA-150、D-N150は最大192kHzのPCMデータに対応

*D-N150は、DSF/DSDIFFには非対応

*D-03Xは、最大384kHzのPCMデータ、最大11.2MHzのDSDデータに対応

PC/Macへのインストール

製品に付属するインストールソフトウェアCDや、ラックスマンWebサイトなどから入手した「LUXMAN Audio Player」のフォルダーまたはアイコンをPC/Mac上の任意の場所にコピー（または移動）して使用します。

操作説明 <Windowsの場合>

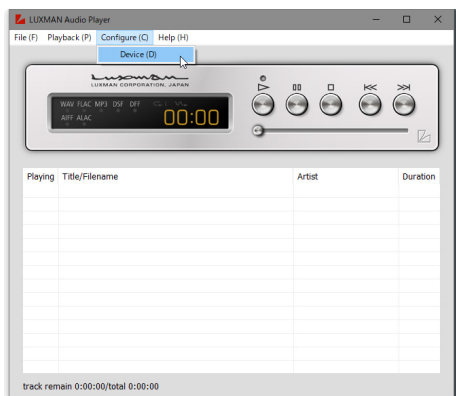
□ソフトの起動

「LUXMAN Audio Player」のアイコンをダブルクリックして起動すると、プレーヤー画面が表示されます。

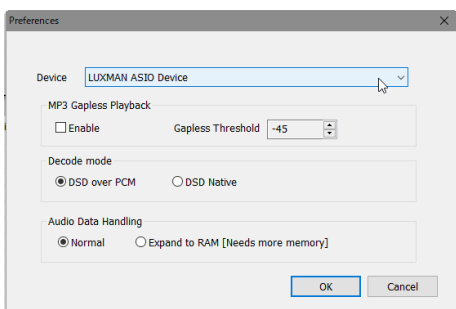
□デバイスの設定

本ソフトに対応するD/Aコンバーターに接続して初めて起動するときは、下記の通りデバイスの設定を行います。

1. 「Configure (C)」メニューから「Device (D)」を選択します。



2. 「Configure」のダイアログボックスが表示されますので、「Device」の項目の右の下向き矢印をクリックして「LUXMAN ASIO Device」を選択します。



3. 「OK」ボタンをクリックすると設定が確定し、「Configure」のダイアログボックスが閉じます。

これで基本的な設定が完了し音声を出力する準備が整いました。接続したD/Aコンバーターの入力切替は「USB」ポジションを選択してください。

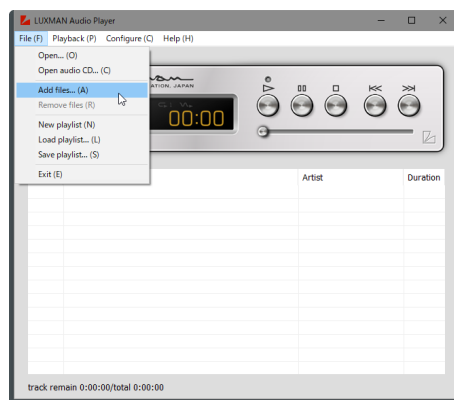
音楽を再生中は「Configure (C)」メニューを選択することができません。再生を停止してから操作してください。

□再生の準備

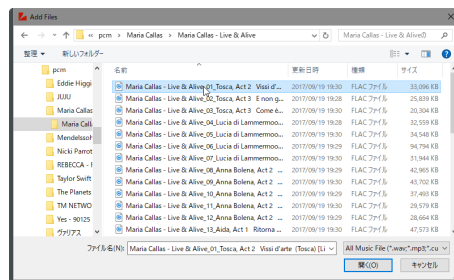
聴きたい音楽ファイルを「LUXMAN Audio Player」で再生できるように準備します。

プレーヤー画面の下部は、再生する音楽ファイルを順に表示した「プレイリスト」です。聴きたい音楽ファイルは「プレイリスト」に直接ドラッグアンドドロップするか、下記の方法で登録します。

1. 「File (F)」メニューから「Add file... (A)」を選択すると「Add file」ダイアログボックスが表示されます。



2. ファイルの一覧から聴きたい音楽ファイルを選択し、「開く (O)」をクリックすると、「LUXMAN Audio Player」にファイルが追加されます。複数の音楽ファイルをまとめて選択し、「開く (O)」をクリックすることで複数の音楽ファイルを一度に追加することも可能です。



3. エクスプローラーから、音楽ファイルやフォルダを「LUXMAN Audio Player」のプレイリスト画面にドラッグすることも可能です。フォルダにサブフォルダが含まれる場合は、サブフォルダ内の音楽ファイルも、プレイリストに追加されます。

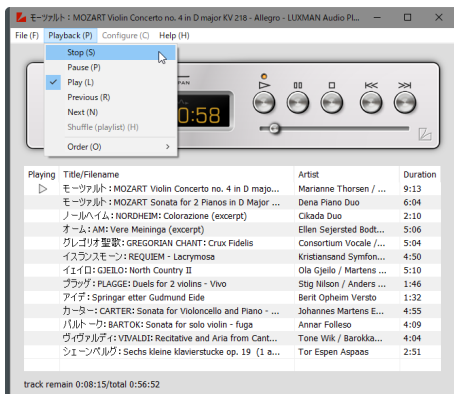
操作説明 <Windowsの場合>

□音楽の再生

1. 「プレイリスト」で聴きたい音楽ファイルを選択し、▶ボタンをクリックすると再生が始まります。プレイリストに登録された音楽ファイルを直接ダブルクリックして再生することも可能です。



2. 停止したい場合は□ボタンを、一時停止したい場合は、⏸ボタンをクリックします。



「LUXMAN Audio Player」のウィンドウの枠にマウスポインターを合わせ、ドラッグするとウィンドウの大きさを変更できます。

3. 「Playback (P)」メニューから下記のメニューアイテムを選択することで各種の再生操作を行うことが可能です。

「Stop (S)」:

再生中の音楽ファイルを停止します。
□ボタンと同じ動作です。

「Pause (P)」:

再生中の音楽ファイルを一時停止します。
⏸ボタンと同じ動作です。

「Play (L)」:

選択している音楽ファイルを再生します。
▶ボタンと同じ動作です。

「Previous (R)」:

ひとつ前の音楽ファイル（プレイリスト上でひとつ上の曲）に戻ります。
⏮ボタンと同じ動作です。

「Next (N)」:

次の音楽ファイル（プレイリスト上でひとつ下の曲）に進みます。
⏭ボタンと同じ動作です。

「Shuffle (playlist) (H)」:

プレイリスト内の音楽ファイルをシャッフル（ランダム）再生します。

「Order (O)」:

リピート再生の方法を選択するメニューです。

「Order (O)」 > 「Default (D)」:

リピート再生しません。

「Order (O)」 > 「Repeat (playlist) (R)」:

プレイリスト内でリピート再生します。

「Order (O)」 > 「Repeat (title) (E)」:

現在選択されている音楽ファイルのみリピート再生します。

操作説明 <Windowsの場合>

□プレイリストの管理

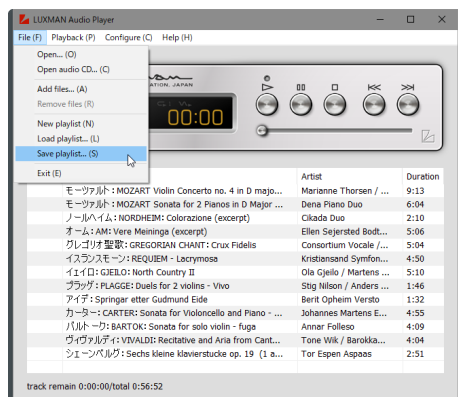
音楽を再生中はプレイリストに関するメニューを選択することができません。再生を停止してから操作してください。

プレイリストに登録した音楽ファイルをプレイリスト・ファイルとして保存することができます。お気に入りの音楽ファイルを集めたプレイリストを、音楽ジャンルや音源フォーマットごとなどに複数作成しておくとう便利です。

「LUXMAN Audio Player」を終了すると直前のプレイリストが記憶されます。次に「LUXMAN Audio Player」を起動すると、前回のプレイリストが表示されます。

・プレイリストの保存

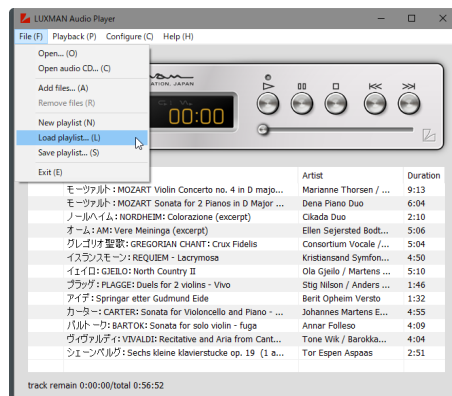
1. 聴きたい音楽ファイルをプレイリストに追加した状態で、「File (F)」メニューから「Save playlist... (S)」を選択します。



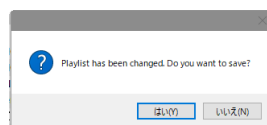
2. 「Save Playlist」ダイアログボックスが表示されますので、任意の場所を選択し名前を入力して、「保存 (S)」ボタンをクリックするとプレイリスト・ファイルが保存されます。

・プレイリストの読み込み

1. 「File (F)」メニューから「Load playlist... (L)」を選択します。

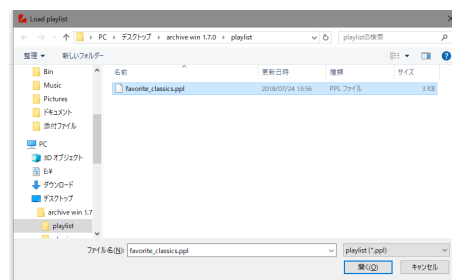


2. 現在のプレイリストに音楽ファイルが登録されている場合は、そのプレイリストをプレイリスト・ファイルとして保存するかを問い合わせるダイアログボックスが表示されます。



3. 現在のプレイリストをプレイリスト・ファイルとして保存したい場合は「はい (Y)」ボタンをクリックしてください。保存しない場合は「いいえ (N)」ボタンをクリックしてください。

4. 「Load Playlist」ダイアログボックスが表示されますので、プレイリスト・ファイル（拡張子.ppl）が保存されている場所から任意のプレイリスト・ファイルを選択し、「開く (O)」ボタンをクリックすると、読み込んだプレイリストがプレーヤー画面に表示されます。



操作説明 <Windowsの場合>

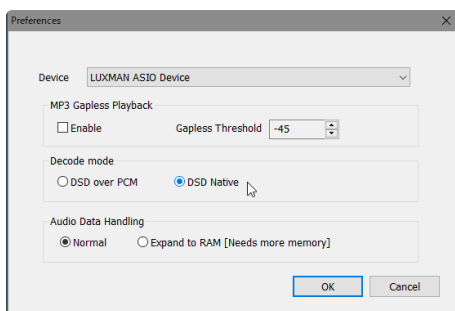
□高音質再生のための設定

音楽を再生中は「Configure (C)」メニューを選択することができません。再生を停止してから操作してください。

・DSDファイル再生モードの選択

DSDファイルを再生する場合、Windows版の「LUXMAN Audio Player」では2つの再生モードから選択することができます。

1. 「Configure (C)」メニューから「Device (D)」を選択します。
2. 「Configure」のダイアログボックスが表示されますので、「Decode mode」の項目で、「DSD over PCM」または「DSD Native」のいずれかの再生モードをクリックして選択してください。



「DSD over PCM」:

略語として「DoP」と呼ばれる再生方式で、通常のPCMフォーマットの音楽信号にDSDデータを埋め込んで再生します。

「DSD Native」:

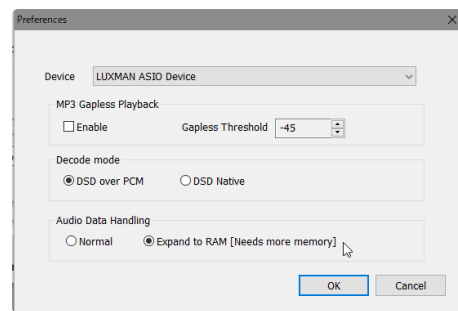
ラックスマン製D/Aコンバーター専用のASIO2.1ドライバによって、PCMフォーマットへの変換を行わず、DSDフォーマットの音楽信号をダイレクトに転送します。

3. 「OK」ボタンをクリックすると設定が確定し、「Configure」のダイアログボックスが閉じます。

・RAM展開再生モードの選択

音楽ファイルを、PCのストレージ（ハードディスクなど）から再生するか、RAM（本体メモリ）にあらかじめ読み込んでから再生するかを選択することができます。

1. 「Configure (C)」メニューから「Device (D)」を選択します。
2. 「Configure」のダイアログボックスが表示されますので、「Audio Data Handling」の項目で、「Normal」または「Expand to RAM」のいずれかの再生モードをクリックして選択してください。



「Normal」:

通常のファイルのアクセスと同じ方法で音楽ファイルを読み込んで再生します。

「Expand to RAM」:

再生するファイルをあらかじめRAM(本体メモリ)に読み込んでから再生します。音楽ファイルを再生しながらストレージからの読み込み動作を行わないため、PCのCPU負荷を低く抑え、音質的にも有利な安定した状態で再生を行うことができます。

「Expand to RAM」を選択した場合、再生する音楽ファイルのサイズが大きかったり、お使いのPCの処理速度が遅いと、再生するまでに時間がかかります。1曲ごとの待ち時間が長い場合は「Normal」を選択してください。

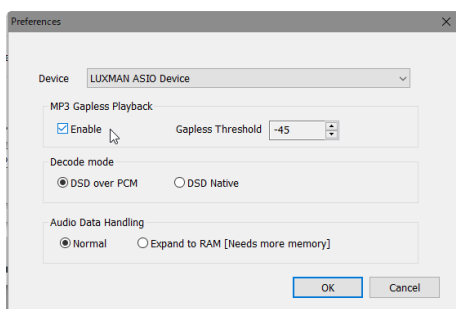
3. 「OK」ボタンをクリックすると設定が確定し、「Configure」のダイアログボックスが閉じます。

操作説明 <Windowsの場合>

・MP3ギャップレス再生モードの選択

MP3フォーマットでは、曲と曲の間がつながっているクラシックやライブ演奏、ノンストップリミックスの音源を再生する場合、音楽ファイルの連続再生時に曲の切り替わりで音が一瞬途切れてしまうことがあります。このモードでは、指定した音量レベル以下の再生をスキップさせることができます。

1. 「Configure (C)」メニューから「Device (D)」を選択します。
2. 「Configure」のダイアログボックスが表示されますので、MP3ギャップレス再生をしたい場合は「MP3 Gapless Playback」の項目で、「Gapless Threshold」の音量レベルを上下ボタンで操作し、「Enable」をクリックして選択してください。



「Enable」:

MP3ギャップレス再生をしたい場合に選択します。

「Gapless Threshold」:

ここで指定した数値以下の音量レベルで再生をスキップします。

MP3ギャップレス再生モードはMP3フォーマットの音楽ファイル再生時にのみ機能します。

3. 「OK」ボタンをクリックすると設定が確定し、「Configure」のダイアログボックスが閉じます。

操作説明 <Macの場合>

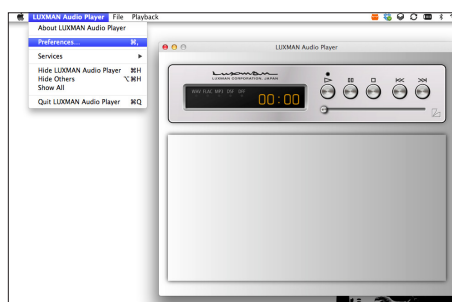
□ソフトの起動

「LUXMAN Audio Player」のアイコンをクリック、またはダブルクリックして起動すると、プレーヤー画面が表示されます。

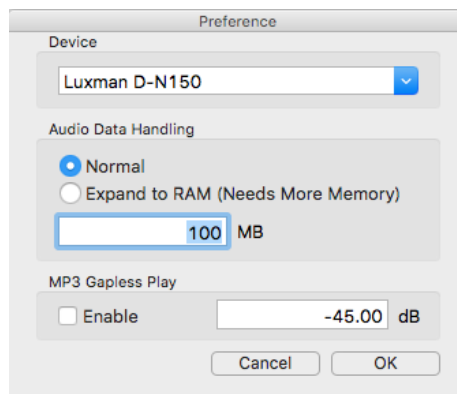
□デバイスの設定

本ソフトを対応するD/Aコンバーターに接続して初めて起動するときは、下記の通りデバイスの設定を行います。

1. メニューバーの「LUXMAN Audio Player」から「Preferences...」を選択します。



2. 「Preference」のダイアログボックスが表示されますので、「Device」の項目の右の下向き矢印をクリックして、接続している製品の機種名を選択します。



例：接続した製品がD-N150の場合は、再生デバイスとして「Luxman D-N150」を選択してください。

これで基本的な設定が完了し音声を出力する準備が整いました。接続したD/Aコンバーターの入力切替は「USB」ポジションを選択してください。

音楽を再生中は「Preferences...」メニューを選択することができません。再生を停止してから操作してください。

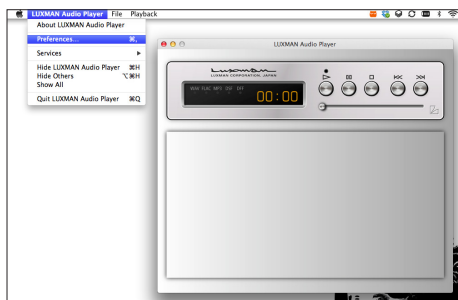
操作説明 <Macの場合>

□高音質再生のための設定

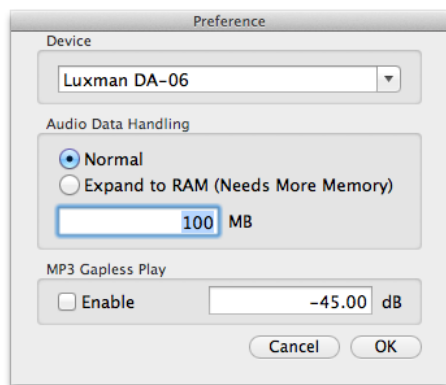
・RAM展開再生モードの選択

音楽ファイルを、Macのストレージ（ハードディスクなど）から再生するか、RAM（本体メモリー）にあらかじめ読み込んでから再生するかを選択することができます。

1. メニューバーの「LUXMAN Audio Player」から「Preferences...」を選択します。



2. 「Preference」のダイアログボックスが表示されますので、「Audio Data Handling」の項目で、「Normal」または「Expand to RAM」のいずれかの再生モードをクリックして選択してください。



「Normal」:

通常のファイルのアクセスと同じ方法で音楽ファイルを読み込んで再生します。

「Expand to RAM」:

再生するファイルをあらかじめRAM(本体メモリー)に読み込んでから再生します。音楽ファイルを再生しながらストレージからの読み込み動作を行わないため、MacのCPU負荷を低く抑え、音質的にも有利な安定した状態で再生を行うことができます。

3. 「Expand to RAM」を選択した場合は、RAM展開再生モードで使用するメモリーの最大容量を指定することができます。よく再生する音楽ファイルの最大サイズ以上に合わせて設定してください。

「Expand to RAM」を選択した場合、再生する音楽ファイルのサイズが大きかったり、お使いのMacの処理速度が遅いと、再生するまでに時間がかかります。1曲ごとの待ち時間が長い場合は「Normal」を選択してください。

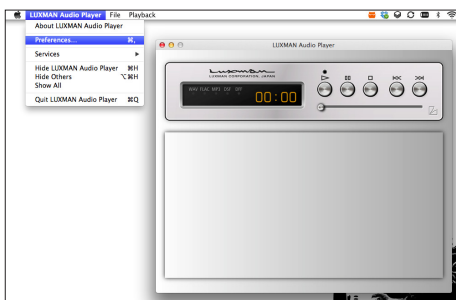
4. 「OK」ボタンをクリックすると設定が確定し、「Preference」のダイアログボックスが閉じます。

操作説明 <Macの場合>

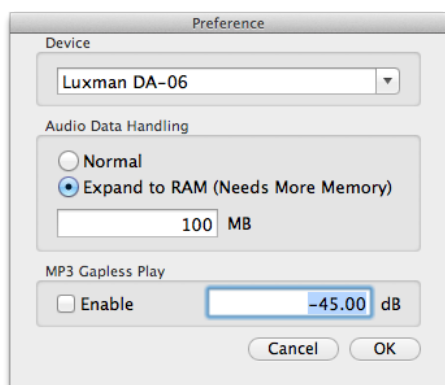
・MP3ギャップレス再生モードの選択

MP3フォーマットでは、曲と曲の間がつながっているクラシックやライブ演奏、ノンストップリミックスの音源を再生する場合、音楽ファイルの連続再生時に曲の切り替わりで音が一瞬途切れてしまうことがあります。このモードでは、指定した音量レベル以下の再生をスキップさせることができます。

1. メニューバーの「LUXMAN Audio Player」から「Preferences...」を選択します。



2. 「Preference」のダイアログボックスが表示されますので、MP3ギャップレス再生をしたい場合は「MP3 Gapless Play」の項目で、再生をスキップさせたい音量レベルを、直接キーボードで入力し、「Enable」をクリックして選択してください。



「Enable」:

MP3ギャップレス再生をしたい場合に選択します。

「(任意の数値)」dB:

ここで指定した数値以下の音量レベルで再生をスキップします。

3. 「OK」ボタンをクリックすると設定が確定し、「Preference」のダイアログボックスが閉じます。
4. これで基本的な設定が完了して音声を出力する準備が整いました。接続しD/Aコンバーターの入力切替は、「USB」ポジションを選択してください。

MP3ギャップレス再生モードはMP3フォーマットの音楽ファイル再生時にのみ機能します。

操作説明 <Macの場合>

☐高音質再生のための設定

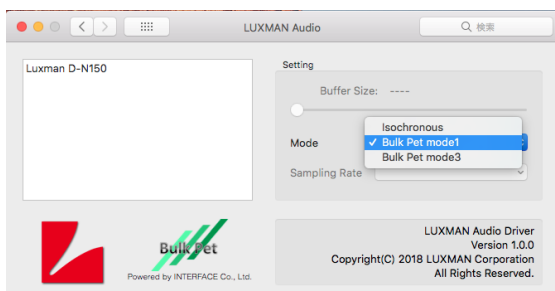
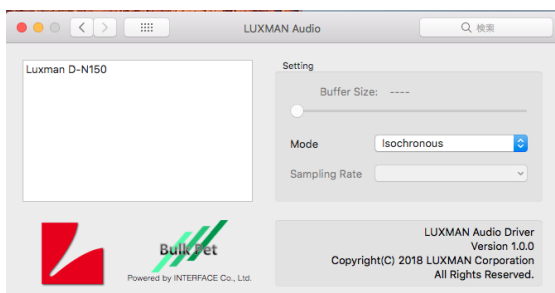
- ・ドライバーの転送方式を変更する。

D-N150、D-03X、D-10X、D-07Xでは、転送方式をIsochronousとBulk Petから選択できます。また、D-N150では2種類、D-03X、D-10X、D-07Xでは4種類の転送パターンから選択できます。

1. システム環境設定から「LUXMAN Audio」をクリックします。



2. 「LUXMAN Audio」を表示されます。
転送方式及び転送パターンを選択してください。



Macでは、バッファサイズは変更できません。
